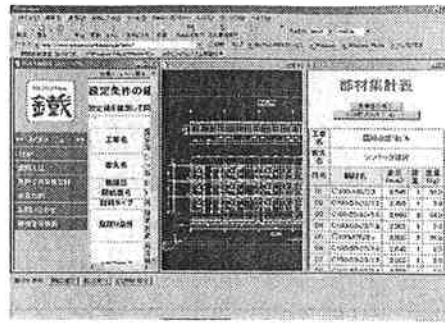


胴縁の積算

ウェブ活用 短時間で

松山鋼材がシステム



松山鋼材(千葉県旭市、向後賢司社長、0479・57・3021)は、多大な

労力を要する胴縁の見積もり・積算をインターネット・ウェブサイトの活用で簡単に行えるようにした「みけどうぶち積算システム」を開発、同社ホームページ(www.matsu

yama-kozai.co.jp)で同システムに基づくサ

ービスの提供を始めた。CADデータを直接取り扱えるブラウザ(閲覧ソフト)を採用することで、世界初とも言えるシステムを実現した。ゼネコン、設計会社向けなどに無料で提供し、鋼材の売り上げ増につなげる。採用したCADブラウザ「コスモス」は、シ

ンテック(山口県田布施町、木谷久社長、0820・52・5230)が

1年ほど前に開発し無料配布している。通常のブラウザでは扱えないCADデータの加工・取り扱いを自在に行えるのが特徴。松山鋼材ではシンテックに「みけどうぶち積算システム」の開発を依頼し、このほど立ち上げた。

同システムの対象となる「胴縁」とは、建築物の内壁などを取り付ける際、床と水平方向に入れ、下地材として使う部材を指す。現在、胴縁の

見積もりや数量計算は手作業がほとんどで多大な労力を要している。

その点、新システムを利用すると胴縁CAD図面(写真)を見ながらの簡単操作により、ごく短時間で見積もり・積算が行える。一連のデータはエクセルなどで自在に加工できる。

利用者は無料配布の「コスモス」をダウンロードするだけでよく、初期投資や利用費は一切不要。

松山鋼材では、この胴縁関連サービスにより会社の知名度や信用度を高め、売り上げ増につなげる。初年度2億円の増収を見込む。